

美の東洋、開港百年へ  
高島屋美術部  
創設百年  
TAKASHIMAYA CENTENNIAL

生命の不思議を見つめて。



「華やぐ終焉」2004年

画業70年 自然と共に生きて

# 堀文子展

10月11日[木]→22日[月] 横浜高島屋ギャラリー(8階)

※ご入場時間：午前10時～午後6時30分(7時閉会)。ただし、10月15日(月)・16日(火)と最終日22日(月)は午後4時30分まで(5時閉会)。

主催=NHKサービスセンター 協力=ナカジマアート、小学館

入場料(税込)=一般800円(600円) 大学・高校生600円(400円) 中学生以下無料

※( )内は前売り及び10名様以上の団体割引料金。前売券は横浜高島屋6階チケットショップにて10月10日(木)までお求めいただけます。

※当選について、「障害者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびにご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。

 **Takashimaya** YOKOHAMA

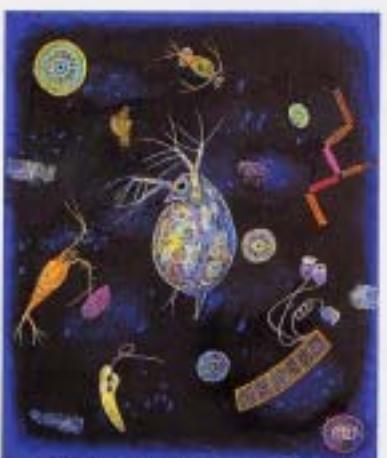
画業70年  
自然と共に生きて

# 堀 文子展

現代を代表する日本画家・堀 文子。1936年女子美術専門学校(現・女子美術大学)に入学し、在学中の1939年に新美術人協会展に初入選しました。以後自然をモチーフに、リアリズムと詩情あふれる画境を切り拓いています。また絵画作品はもとより、凛然としたその生き方から綴られる隨筆も、たくさんのファンに愛されています。これまでで最大規模の回顧展となる本展では、初期からの代表作に加え、雑誌「サライ」に連載中の原画や、82歳にして自らヒマラヤに赴き描いた「幻の花 ブルーポピー」と今年再びこの花を描いた新作など、約130点を展観します。70年に及ぶ画業の全貌を、ごゆっくりお楽しみください。



「孤絶の花 ブルーポピー」2007年



「極微の宇宙に生きるものたちII」2002年  
「アフガンの王女」2003年



「椿之図」1982年  
あいおい損害保険株式会社蔵



「甲骨文字」2004年